

臨床研究に関する情報公開

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

<p><研究課題名> 冠動脈ステント留置後新生内膜性状予測への血管内超音波検査の有用性の検討</p>
<p><研究機関・研究責任者名> 日本大学医学部附属板橋病院 循環器内科 (研究責任者) 新井陸</p>
<p><研究期間> 承認日 ~ 西暦 2021年 12月 31日</p>
<p><研究の目的と意義> 虚血性心疾患に対するカテーテル治療(経皮的冠動脈形成術)においてステント留置を行っておりますが、ステント留置後の合併症として遅発性ステント不全という、一年以降にステントが再び狭くなったり、血栓が付着して狭心症や心筋梗塞をきたすことがあります。遅発性ステント不全はステントの改良にもかかわらず、現在においても臨床的に残された課題であり、その予測因子を調べるのが本研究の目的であります。</p>
<p><利用する試料・情報の項目> 虚血性心疾患に対してカテーテル治療を行う際に用いる血管内超音波検査を用いて得られた冠動脈の画像所見と、冠動脈カテーテル再検査に用いる血管内視鏡検査で得られる所見、および患者様の臨床情報(身体所見、血液検査所見など入院時に通常の診療で行っていること)を用います。よって、本研究にエントリーされたから新たに何か追加検査を行うなどは必要なく、通常の診療を行い、そのデータを用いて解析を行います。</p>
<p><対象となる患者さん> 2018年1月1日～ 2019年12月31日の期間に当院循環器科で虚血性心疾患に対してカテーテル治療を受けた患者様のうち、数か月から2年後に冠動脈カテーテル再検査を行った患者様が対象になります。</p>
<p><研究の方法> 上記該当年月日以内に冠動脈ステント留置後の冠動脈カテーテル再検査を行った患者様に関して、上記調査項目を探索的に抽出し統計学的に解析を行います。これらの結果は統計処置を行い集計するため、患者様のお名前や個人情報明らかになることはございません。</p>
<p><お問い合わせ窓口> 日本大学医学部附属板橋病院 (東京都板橋区大谷口上町 30-1) 循環器内科 氏名: 新井 陸 電話: 03-3972-8111 内線: (医局) 2413 (PHS) 8695</p>

日本大学医学部附属板橋病院(ver.1705)